

各地区情報

▼北海道

会員増で盛り上がる

鳥羽 啓一(TVH)

先週芽吹いた桜が満開になった4月30日、ただ、風が強く体感温度がマイナス1度という寒い日に、本年度の北海道民放クラブの総会がホテル札幌ガーデンパレスで開催され、近年では一番多くの会員42名が集まりました。

昨年の総会から新会員が16名増え、そのうち11名が出席、新しく入った会員の力で、外の寒風を吹き飛ばすほど会場は熱気に包まれました。

総合同会は例年通り堺なおこさん(STV)が行い、総会に先立ち、物故者の皆様のご冥福を祈って黙祷を捧げました。

新蔵博雅会長(UHB)より開会の挨拶があった後に、来賓の日本民放クラブ理事で関東民放クラブ理事の中村こずえ様から、女子コミニ力を活かした会員の集め方など、大変参考になるご挨拶を頂きました。

総会には新蔵会長の議長で進められ、3つの議案「2024年度活動報告・収支決算報告、会計監査報告」「2025年度活動計画・収支予算(案)」「北海道民放クラブ役員選任の件」が審議され、全員の拍手で承認されました。

理事選任は2年に一度の改選期で、新蔵会長、白幡嘉信理事長(HBC)を始め、新任者2名を含む全役員が選任され、総会は無事終了。

続いて新事務局長の鳥羽啓一(TVH)の就任挨拶、3日前に1名入会申し込みがあった報告、そして乾杯の音頭で懇親会がスタート。

会は和やかに進み、各部長のスピーチが始まりました。

西野泰子社会活動部会長(HBC)から、次回講演会フリーキヤスター中田美知子さん(エフエム北海道)の「アナウンサー人生50年をいま棚卸します」の案内がありました。民放クラブ講演会は年々一般参加の人も増えているので、みんなの期待もひとしおでした。

各部長も、新会員が多いので、熱のこもったスピーチが続きまし

た。

会場では部長と新会員の初交流や、部長からのスカウトで即断部会入りする新会員もあり、有意義な懇親の場となりました。壇上で新会員の紹介も行い、入ったいきさつや今の気持ち、新会員から披露され、大いに盛り上がりしました。

佐藤正人常務理事(UHB)、樋泉実常務理事(HTB)から挨拶を頂き、就任挨拶と締め乾杯を、新任の総務でブログ担当の奥出誠理事(HBC)が行いました。

ちょうど総会の日が誕生日の奥出理事はユーモアを交えながら、理事になったいきさつ、また会員の年代別構成を披露し、会場から笑いと「みんな長生きで良かった」という声が出ていました。

新会員増で幸先の良いスタートを切った

新年度、このまま走り抜けていきたいという決意です。

追伸…その後、熱気収まらず2次会(?)も行い、ほぼ半数の20名近くが参加しました。もちろん、大いに盛り上がりしました。



総会で挨拶される日本民放クラブ中村理事(左端)。新会員が11名も出席した